

## 令和7年度 学校評価(関係者評価)シート

学校名

加古川市立平岡南中学校

## 1 教育目標

こころ豊かに『在りたい未来』へ向かう 生徒の育成

## 2 基本方針

生徒が将来の夢や目標に向かって主体的に進んでいくことをめざして、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和を図った教育活動を推進する。また、自己理解・他者理解を深め、他者と協力・協働しながら「在りたい自分」や「在りたい社会」の実現に向けて進んでいける生徒の育成をめざす。

## 3 指導目標

- ①「確かな学力」の育成:ICTを有効活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実。協同的探究学習の効果的な活用による「わかる学力」の育成。
- ②「豊かな心」の育成:いのちや心、多様性や包摂を大切にする人権教育・道徳教育の充実。いじめを許さない集団づくり。自治的・自発的な生徒会活動の充実。キャリア教育の充実。
- ③「健やかな体」の育成:基本的生活習慣の確立と健康教育の推進。学校給食を活用した食育の推進。防災・安全教育の推進。個に応じた体力・運動能力の向上と維持。
- ④教職員の資質・能力の向上:誰もが安心できる環境づくり。特別な支援や配慮を要する生徒のニーズに応じた指導の充実。不登校生徒等への支援の充実と組織的関わりの確立。
- ⑤地域とともにある学校づくりの推進:学校運営協議会、学校支援ボランティアによる地域との協働の推進。保護者・地域との連携・協働「学校園連携ユニット」の取組の充実。

## 評価基準

A:できている

B:だいたいできている

C:あまりできていない

D:できていない

E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策
(1)「確かな学力」の育成	協同的探究学習を核とした授業改善の工夫 ICTの活用を通じた学びの充実	B	協同的探究学習を核とした授業改善を行っているが、生徒が授業で進んで発表をしているという意識が低い。自信をもって発表できる機会を工夫しながら生徒の表現力を引き出していきたい。
(2)「豊かな心」の育成	いじめや困ったことがあったときの適切な対応 生徒の自己肯定感を高め、主体性を尊重	B	いじめ等への対応については大多数の生徒が肯定的に受け止めているものの、少数ではあるが十分に対応してもらえていないと感じている生徒もいる。少数意見を重く受け止め、個別の状況に丁寧に向き合う姿勢を一層強化する必要がある。
(3)「健やかな体」の育成	基本的生活習慣の確立 食育指導	A	生徒・教職員ともに現状維持のままになっているので、意識の強化が必要。研修や日々の声掛け、保護者への発信を継続していく。
(4) 地域とともにある学校づくりの推進	地域連携の活性化	A	生徒自身が地域と関わりをもつ機会が年々少なくなってきたことで、自身と地域社会とのつながりを感じる意識は低い。生徒主体となって地域と関われる活動や機会をこちらが意図的に設ける必要がある。

自己評価の適切さ(関係者評価)	達成状況
授業の魅力向上について、「協同的探究学習」を推進し、教職員の資質向上に取り組んだ点は評価できる。1年生の不登校理由に「勉強が難しくなること」が考えられ、個別の学習フォローが不登校対策の鍵になる。	B
「いじめ等の未然防止・早期発見」に対し、「学年担任週間」による相談パイプの複数化や、教職員と生徒の信頼関係構築がされている。「おとなしい」生徒が増え、自責的な傾向や陰湿なトラブルが懸念される中、学校側が早期発見に努めている。	A
「赤ちゃん先生」などの命の教育を通じた心の成長や、体育祭・合唱コンクールでの生徒の躍動がうかがえる。LGBTQの学習を通して「自分と他者の人権を守る」という視点での指導が、健やかな精神・身体の育成となっている。	A
地域行事の運営を工夫し、生徒が参加しやすいような行事を行っていききたい。生徒が挨拶をなかなかできない状況であるなら、地域の大人がその指導をすることが必要であると感じる	A